

— 調査概要 —

【調査目的】練馬区民の全死亡者における在宅看取りの実態や練馬区および隣接自治体の医療資源との関係性等を把握する。また、将来の在宅医療の需要を推計し、練馬区の在宅医療体制を検討するための基礎資料とする。

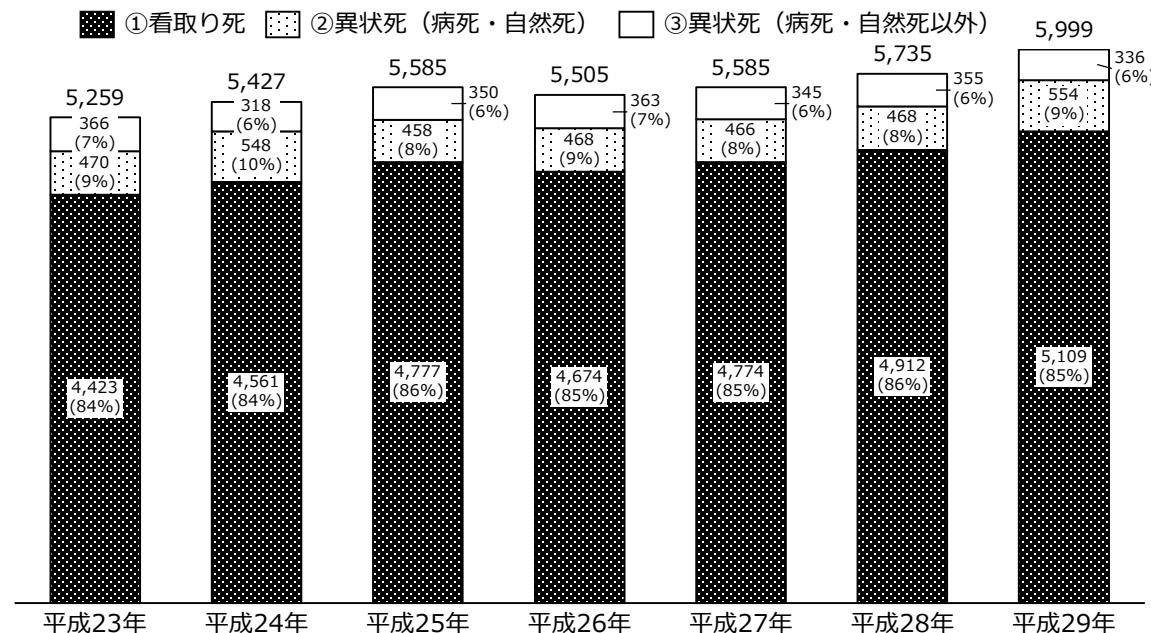
【対象】人口動態調査の死亡小票データ

前回までの調査2011年1月1日～2015年12月31日までの分析結果に加え、2016年1月1日～2017年12月31日までに死亡した区民11,734件

※看取り死：病死・自然死のうち医師（監察医・嘱託医以外）が死亡診断書を発行したもの。
 ※異状死：看取り死以外の病死・自然死のほか、交通事故等での死のうち、監察医・嘱託医が死体検案書を発行したもの。

死亡者数

- ✓ 練馬区の死亡者数は増加している。
- ✓ 看取り死は85%、異状死（病死・自然死）9%、異状死（病死・自然死以外）6%で推移し、大きな変化はない。



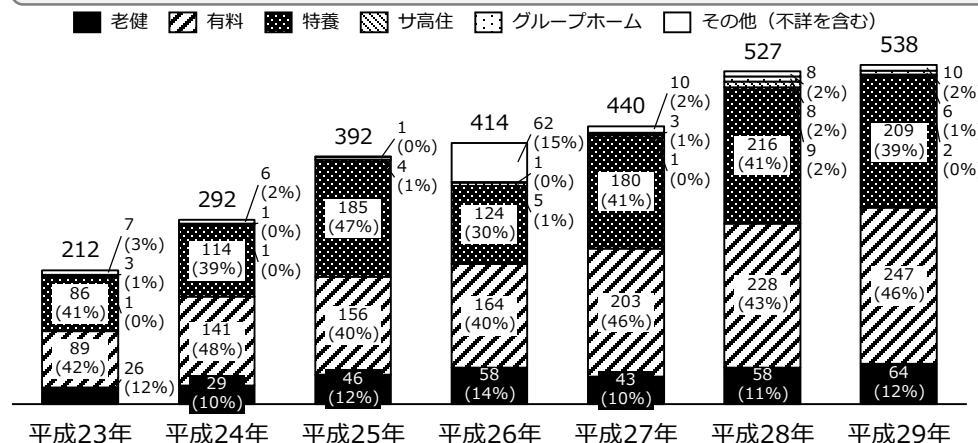
在宅支援診療所・病院の在宅看取りの現状 (平成29年)

- ✓ 平成29年に最も在宅看取りをした在宅支援診療所（以下「在支診」）は在支診2の190件（53.7%）で、看取りを行った17か所の平均は11件/年である。
- ✓ 在支診の届出をしていない医療機関でも23か所42件を看取っている。

届出の種類	届出数	看取り対応数	看取り件数
在宅療養支援診療所1	0か所(0.0%)	0か所(-%)	0件(0.0%)
在宅療養支援診療所2	22か所(3.9%)	17か所(77.3%)	190件(53.8%)
在宅療養支援診療所3	48か所(8.3%)	24か所(50.0%)	84件(23.8%)
在宅療養支援病院1	0か所(0.0%)	0か所(-%)	0件(0.0%)
在宅療養支援病院2	3か所(0.5%)	3か所(100.0%)	38件(10.8%)
在宅療養支援病院3	0か所(0.0%)	0か所(-%)	0件(0.0%)
届出なし	488か所(87.0%)	23か所(4.1%)	41件(11.6%)
合計	561か所	67か所(11.9%)	353件

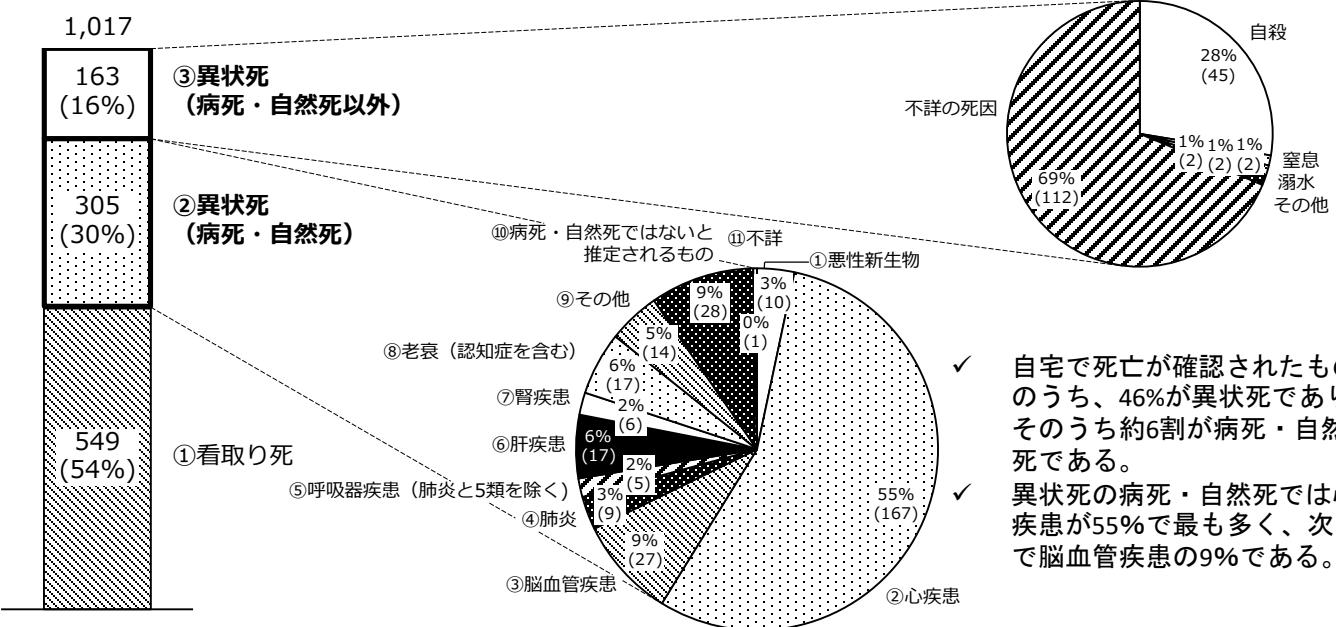
※届出は平成30年1月現在

施設看取り件数



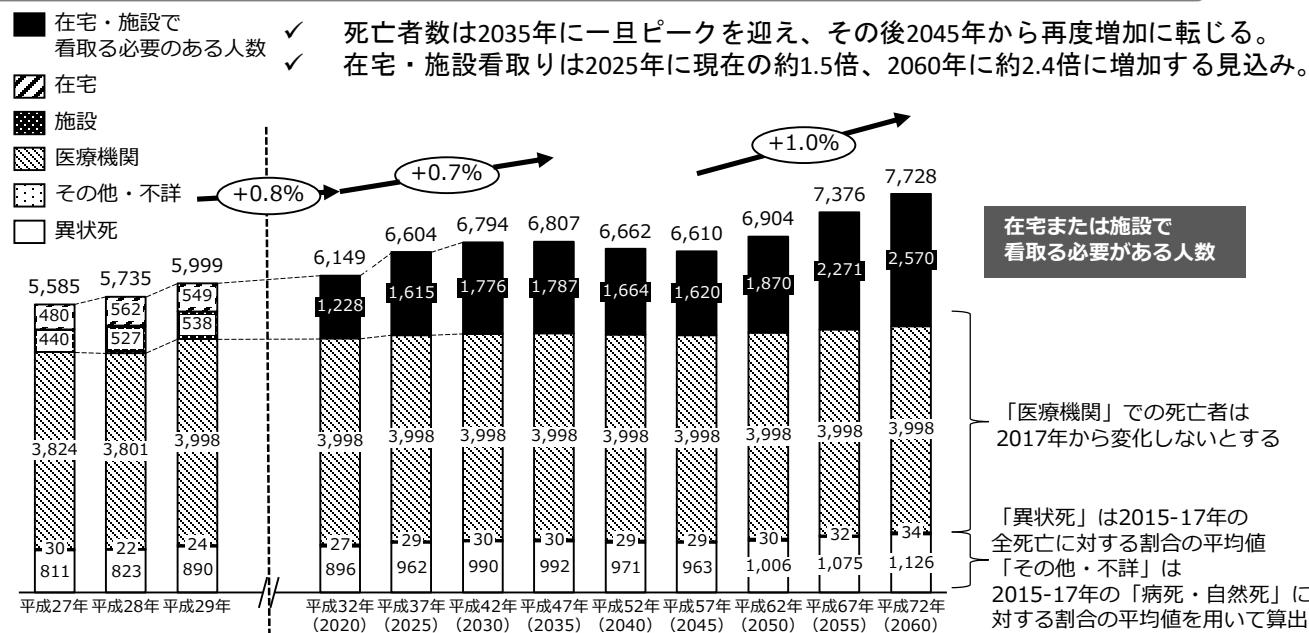
- ✓ 施設での看取り件数は、平成23年と比較して平成29年は約2.5倍である。
- ✓ 有料老人ホームが最も多く46%、次いで特別養護老人ホーム39%、老健が12%である。

在宅での異状死の現状 (平成29年)



- ✓ 自宅で死亡が確認されたもののうち、46%が異状死であり、そのうち約6割が病死・自然死である。
- ✓ 異状死の病死・自然死では心疾患が55%で最も多く、次いで脳血管疾患の9%である。

将来死亡者数推計



- ✓ 死亡者数は2035年に一旦ピークを迎え、その後2045年から再度増加に転じる。
- ✓ 在宅・施設看取りは2025年に現在の約1.5倍、2060年に約2.4倍に増加する見込み。

在宅または施設で看取りが必要がある人数

「医療機関」での死亡者は2017年から変化しないとする

「異状死」は2015-17年の全死亡に対する割合の平均値

「その他・不詳」は2015-17年の「病死・自然死」に対する割合の平均値を用いて算出